

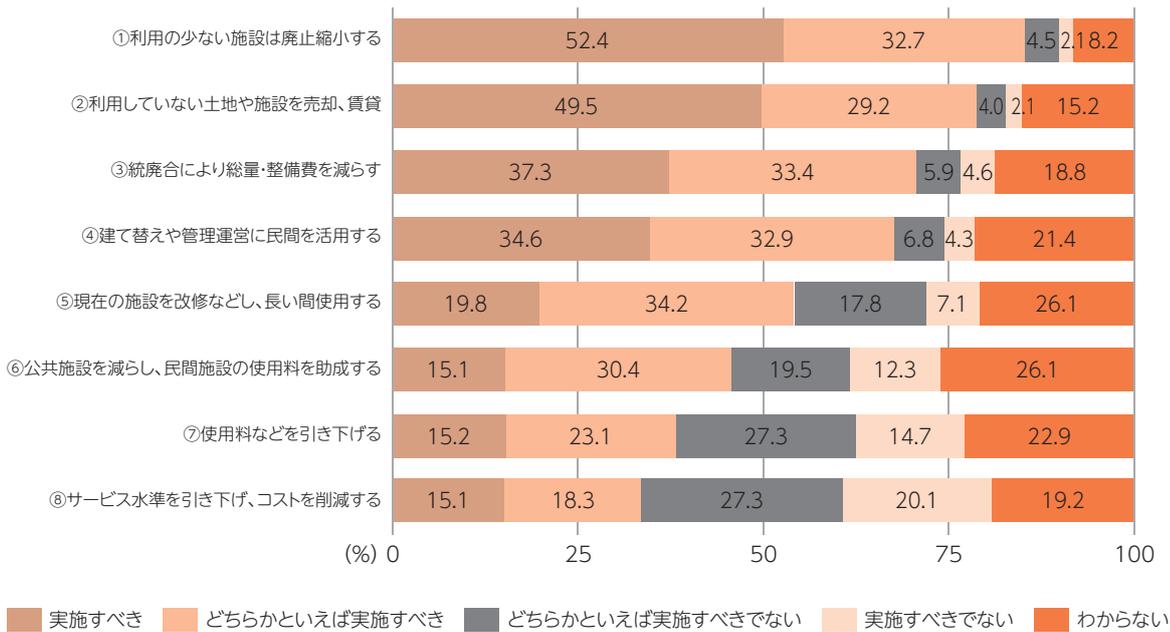
考える・公共施設⑤



市が保有している施設の老朽化が進んでおり、建て替えや維持にかかる費用が年々増加していることを見込まれています。公共施設の更新・維持について、施設を利用し、その維持を負担する市民の皆さんの公共施設に対する意向を聞くため、市民アンケートを実施しました。



公共施設のあり方に関するアンケート調査
 調査期間：平成27年5月29日～6月15日
 対象：市内在住の満20歳以上の方 2000人
 回収率：783人(約39.2パーセント)
 ご協力ありがとうございました



公共施設はサービスの水準を落とすことなく、
 総量の適正化や保有資産の有効活用が求められています

※アンケート集計について、無回答は除いています。

今後の公共施設のあり方について、①～⑧について実施すべきかそうでないかをお聞きしました。

①③から「利用の少ない施設を統廃合や縮小をしたほうがよい」②からは「利用していない土地の売却や賃貸を行った方がよい」と考えている方が多いことがわかります。土地や施設の適正配置・有効活用が求められていることがわかります。

しかし、ただ縮小すればいいということではなく、建て替えや運営などに関して民間の力を活用しながら現在の施設を長く使用することも必要だと考えている方もいることが、④⑤から読み取れます。

⑦⑧では、使用料の引き下げやコストの削減を実施した方がよいと考えている方より、すべきではないと考えている方が多い結果になりました。必要以上のコスト削減や使用料の引き下げは、サービス水準の低下を招く恐れがありますが、市民の皆さんはそれを望んではいないことがわかります。